

# History 新野左馬助親矩

キラリを再発見

特別編

## 東光院・能仲和尚と左馬助公

天文13年(1544年)、井伊直満が今川義元(ちゅうぎげん)に誅殺された際、直満の嫡子亀之丞(後の直親)にも追手が迫る。そのとき、信州高森(現在の長野県高森町)の松源寺に逃がしたのは、今村藤七郎(とうしちろう)と東光院の住職であった能仲和尚(のうちゅうおしょう)とされる。この能仲和尚は、安政2年(1855年)に再興された新野左馬助親良公の役人に出された東光院文書(写真)によれば、「能仲和尚者新野郷之産」とされ、新野の出身であった。この縁により、左馬助親矩公は、同郷の師である能仲和尚と昵懇であったと想像される。

永禄7年(1564年)9月、左馬助公は今川家に反逆した飯尾豊前守(いひのぶさだ)を中野信濃守(しなののかみ)と共に攻めたが、両将とも天馬橋付近で討死した。左馬助公は、死後のことを能仲和尚に託していたといい、遺言によって葬儀は東光院で行われたという。



▲東光院文書(新野左馬助様御役人衆中)  
※静岡県立中央図書館歴史文化情報センター提供

御元祖左馬介親矩公ハ  
新野郷之地頭職隠居之後  
井伊谷ニ被居住永禄七甲子  
秋九月飯尾豊前守則重  
反逆之聞有之今川家ヨリ  
加勢被差向井伊保之人數  
相權中野信濃守と兩將及  
一戰無利して兩將共於天  
馬橋傷害其時當寺三世  
能仲和尚者新野郷之産  
依有因縁任遺言葬當寺  
所遺之鞍轡守護佛  
二者摩利支尊天妙見菩薩  
等全伝来之處可為  
御家名之御規模在今般  
御相伝申出之証状如件  
遠州引佐郡  
井伊庄洪川村  
日輪山東光院  
安政二乙卯年 文齋  
二月  
新野左馬助様  
御役人衆中

▲東光院文書読み下し文

大河ドラマ「おんな城主 直虎」  
応援プロジェクト

照会 社会教育課 ☎0548⑥1129

# Atomic

暮らしと原子力

「御前崎市原子力災害  
広域避難計画」を公表

市は3月24日、浜岡原子力発電所における原子力災害に備えた「御前崎市原子力災害広域避難計画」を公表しました。

この計画は、地域防災計画の原子力災害対策編に基づき、中部電力(株)浜岡原子力発電所における原子力災害に備え、原子力災害対策重点区域にかかる市民の避難、一時移転および屋内退避の判断基準、避難先、避難経路、避難手段などについて定めたものです。

この計画により、原子力災害が単独で発生した場合は浜松市に避難し、大規模地震との複合災害時などで浜松市に避難できない場合は、長野県に避難することになります。具体的な避難場所や避難経路、渋滞対策、降雪対策、要配慮者の避難方法など、今後、さまざまな検討課題につ

いて、国、県、関係市町村と協議を進めていきます。今後、計画をより実効性のあるものにするため、原子力防災訓練などによる検証を含め、さらに検討を進め、この計画への反映や関連する計画やマニュアルなどを作成していく予定です。

県内避難先および協議をしている県・市町村

避難先1	避難先2
原子力災害が単独で発生した場合など	大規模地震との複合災害時などで避難先1に避難できない場合
浜松市	長野県 (松本地域、北安曇地域、長野地域、北信地域)※

※協議先の地域などについては、今後変更される場合があります。